

ホタテガイ養殖管理情報

青森県 青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所
水産振興課

青森市水産指導センター

水温はまだ高い状況が続いているので、玉付け・掃除・分散・へい死確認を行わないようにしましょう。

1 海況

9月6日～12日の各ブイの中層～下層の水温は図1、2のとおりです。気温は低下してきましたが、水温は依然として高い状態が続いています。

2 ホタテガイの成育状況

9月10日に久栗坂実験漁場の成育状況調査を行った結果、稚貝、新貝ともにへい死は認められませんでした。

3 今後の養殖管理の注意点

これまでの試験結果から、ホタテガイの成長と生残率に与える水温の影響は以下のとおりと考えられます(表1、2)。

- 新貝は、20℃で成長が止まり、それ以降は中腸腺(ウロ)や貝柱のエネルギーを使って生命を維持するが、水温が24℃、25℃、26℃と高くなるほどエネルギーの消耗が激しくなり、最後はエネルギー不足でへい死する。
- 稚貝は、23℃を超えると成長が止まり、新貝と同様に水温が高くなるほどエネルギーの消耗が激しくなり、最後はエネルギー不足でへい死する。
- 稚貝・新貝とも27℃になると、鰓による呼吸ができなくなり、急死する。

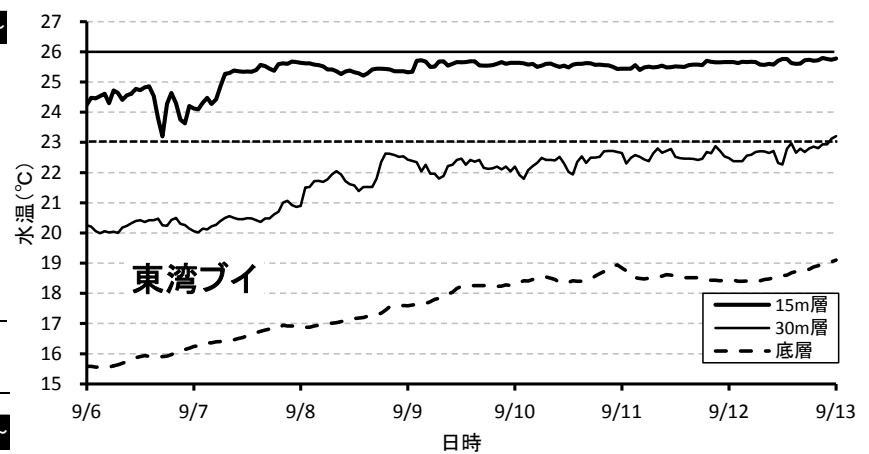
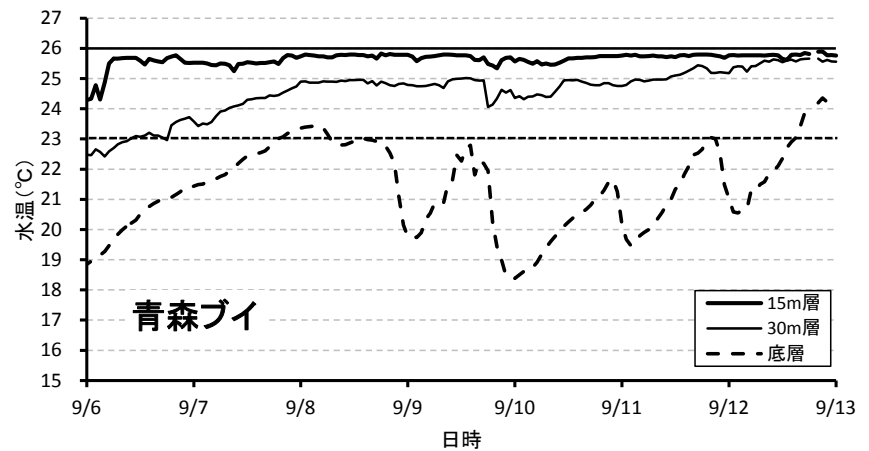
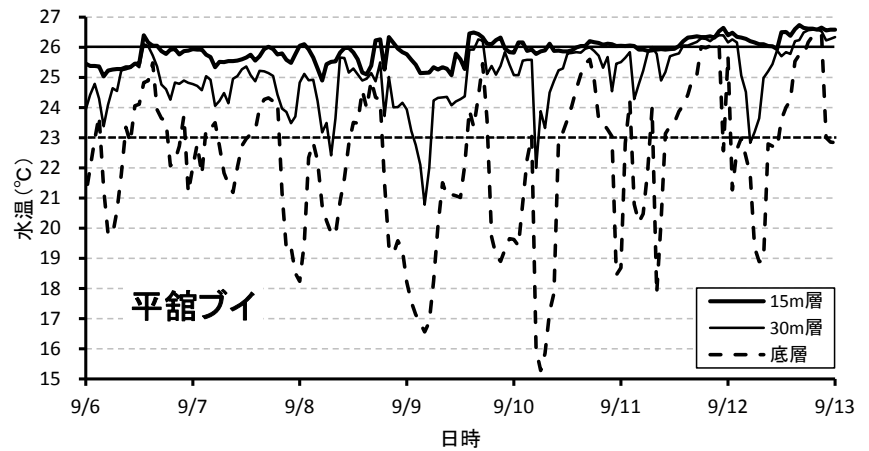


表1 新貝の成長と生残率に与える水温の影響

部位	~19℃	20℃	21℃	22℃	23℃	24℃	25℃	26℃	27℃~
成長がストップ									
サイズ									
中腸腺(ウロ)									
貝柱									

表2 稚貝の成長と生残率に与える水温の影響

部位	~19℃	20℃	21℃	22℃	23℃	24℃	25℃	26℃	27℃~
成長がストップ									
サイズ									

図1 海況自動観測ブイでの中層～下層の毎時の水温変化

9月12日時点の各ブイの水温区分ごとの出現日数は表3のとおりで、平館、青森、東湾ブイの15m層では、一昨年(2010年)の同時期よりも高水温の日が少なくなっています。

表3 各ブイの水温区分ごとの出現日数

	平館15m		青森15m		東湾15m		奥内10m	野辺地10m	浜奥内10m	蓬田15m	東田沢15m	清水川15m	横浜15m	川内15m	脇野沢15m
	2010現在	2012現在	2010現在	2012現在	2010現在	2012現在									
23℃を超える	39	24	36	24	26	10	31	25	27	21	17	13	12	10	16
24℃を超える	33	20	33	18	22	7	22	18	19	17	14	11	3	7	11
25℃を超える	24	14	21	9	15	6	17	4	6	13	6	3	1	5	9
26℃を超える	12	2	11	0	6	0	6	0	0	3	0	0	0	1	4

しかし、地区によっては、西湾の西側(平館～奥内)や、東湾の北側(脇野沢～浜奥内)のように、高水温の日数が多く、ホタテガイの体力がかなり消耗している可能性もあるので、引き続き、水温の低い下層に沈めて、玉付けや掃除、分散、へい死確認などの作業を行わないようにしましょう。

なお、東湾の一部の底層で低酸素状態(陸奥湾溶存酸素情報1～2号)が見られますが、ホタテガイが急死するような濃度ではなく、同じ場所に低酸素水塊が滞留している時間も短いと考えられます。

分散時期等については、9月27日発行予定のホタテガイ養殖管理情報を参考にしてください。

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156